

Kurume College		Year	2022		Course Title	English for Engineers
Course Information						
Course Code		7C09		Course Category	Specialized / Compulsory	
Class Format		Seminar		Credits	Academic Credit: 1	
Department		物質工学専攻（生物応用化学コース）		Student Grade	Adv. 2nd	
Term		First Semester		Classes per Week	前期:2	
Textbook and/or Teaching Materials		参考書：アクティブ科学英語、多田旭男他、三共出版				
Instructor		萩原 義徳				
Course Objectives						
1. 生物応用化学に関する技術英語で使用される基本的な単熟語、構文、慣用表現が理解・使用できる。 2. 英文の教科書、論文およびマニュアルの読解およびヒアリング能力の習得。 3. 生物応用化学に関連した英語の長文を読み、技術内容を正確に把握し、内容を英語で説明できる。						
Rubric						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	生物応用化学に関する技術英語で 使用される基本的な単熟語、構文、 慣用表現が理解・使用できる。		生物応用化学に関する技術英語で 使用される基本的な単熟語、構文、 慣用表現が理解できる。		生物応用化学に関する技術英語で 使用される基本的な単熟語、構文、 慣用表現が理解・使用できない。	
評価項目2	英文の教科書、論文およびマニ ュアルの読解およびヒアリングする ことができる。		英文の教科書、論文およびマニ ュアルの読解およびヒアリングする ことが一部できる。		英文の教科書、論文およびマニ ュアルの読解およびヒアリングする ことができない。	
評価項目3	生物応用化学に関連した英語の長 文を読み、技術内容を正確に把握 し、内容を英語で説明できる。		生物応用化学に関連した英語の長 文を読み、技術内容を正確に把握 し、内容を英語で一部説明できる 。		生物応用化学に関連した英語の長 文を読み、技術内容を正確に把握 し、内容を説明できない。	
Assigned Department Objectives						
JABEE E						
Teaching Method						
Outline	産業社会のグローバル化にともない、世界中での技術情報伝達の多くが英語で行われるようになった。技術者にとって、英語情報を十分に活用し、さらに自ら英語で情報を発信できる能力は必須である。英文の教科書・論文・マニュアルを通して、技術英語に関する基礎的な単熟語、英語構文、慣用表現およびヒアリング能力を涵養する。さらに英語によるプレゼンテーション能力の養成を目指す。					
Style	授業の前半は関連資料やプリントを用いて、技術英文で多用される単熟語、構文、慣用表現について学習する。その後、生物応用化学系の論文や英語ニュースなどから長文を選び、輪読形式で読み進めることで、英文の技術内容を正確に把握する能力を涵養する。さらに、輪読した英文の技術内容を英語でパワーポイントを用いて説明する。輪読時の英文の和訳、内容の説明がスムーズにできるよう予習を行い、授業に参加することが望ましい。					
Notice	関連科目：実践英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、工業英語などの英語科目。 本科目は学修単位科目であるので、授業時間以外での学修が必要であり、これを課題として課す。 レポートや提出物(60%) および発表（40%）により総合的に評価する。 60点以上を合格とする。60点未満の者を対象に、必要に応じて再試験を実施する。 次回の授業プリントを配布するので、範囲を予習し、英単語・専門用語の意味等を理解しておくこと。					
Characteristics of Class / Division in Learning						
☒ Active Learning		☒ Aided by ICT		☒ Applicable to Remote Class		☐ Instructor Professionally Experienced
Course Plan						
			Theme		Goals	
1st Semester	1st Quarter	1st	英語による自己紹介の作成および簡単な技術英語の輪読（授業ガイダンスを含む）		自分のことや専門分野について簡単な英語の文章を書き、英語で説明することができる。	
		2nd	科学英語の表現1（技術英語で多用される単熟語、構文、慣用表現）		科学技術の実験操作の和訳や英訳ができる。	
		3rd	科学英語の表現2		科学技術の実験操作の和訳や英訳ができる。	
		4th	科学英語の表現3		科学技術の数値表現の和訳や英訳ができる。	
		5th	科学英語の表現4		科学技術の数値表現の和訳や英訳ができる。	
		6th	英文輪読 1（生物応用化学に関する論文等を輪読形式で読み進めながら、和訳および技術内容の説明を行う）		科学技術に関する英文記事を読んで理解し、説明できる。	
		7th	英文輪読2		科学技術に関する英文記事を読んで理解し、説明できる。	
		8th	英文輪読3		科学技術に関する英文記事を読んで理解し、説明できる。	
	2nd Quarter	9th	英文輪読4		科学技術に関する英文記事を読んで理解し、説明できる。	
		10th	英文輪読5		科学技術に関する英文記事を読んで理解し、説明できる。	
		11th	パワーポイントによる技術内容の説明準備1（輪読した英文の技術内容をパワーポイントにとりまとめ、英語による技術内容の説明を行う）		専門分野をスライドにまとめ、英語の口頭発表の準備ができる。	
		12th	パワーポイントによる技術内容の説明準備2		専門分野をスライドにまとめ、英語の口頭発表の準備ができる。	
		13th	パワーポイントによる技術内容の説明準備3		専門分野をスライドにまとめ、英語の口頭発表の準備ができる。	

		14th	パワーポイントによる技術内容の説明			専門分野について、英語の口頭発表および質疑応答ができる。	
		15th	まとめ				
		16th					
Evaluation Method and Weight (%)							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	Total
Subtotal	0	30	10	0	0	60	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	30	30
専門的能力	0	0	0	0	0	30	30
分野横断的能力	0	30	10	0	0	0	40